

令和2年度 一般会計予算

消防本部 主要事業(細事業)説明資料

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	10,144千円		13,340千円		△ 3,196千円		14,379千円		課	総務課
	目	01 常備消防費										
	事	02 消防本部総務業務										
	細事	01 消防本部総務業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実										10,144	
目的・趣旨	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。		主な財源									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 580千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○交際費 50千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防長交際費 ○需用費 4,125千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務消耗品、職員被服等貸与品、図書、仮眠寝具購入等 ○役務費 1,699千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話料金、郵便料金等 1,419千円 ・ 筆耕翻訳料 5千円 ・ 仮眠寝具クリーニング代、各種申請料 218千円 ・ 火災保険料 57千円 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・ B型肝炎予防接種、健康診断委託料 871千円 		<ul style="list-style-type: none"> ○使用料及び賃借料 532千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ コピー機借上料、有料道路通行料等 ○備品購入費 1,887千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防火服 ○負担金 400千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国消防長会会費、全国消防協会会費等 									

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	3,351千円		1,425千円		1,926千円		920千円		課	総務課
	目	01 常備消防費										
	事	03 消防訓練・研修業務										
	細事	01 救急救命士養成業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実									3,351		

目的・趣旨	医師の指示の下、救急車内等で処置ができる救急救命士を計画的に養成するとともに、気管挿管が可能な認定救命士の養成を行う。		主な財源

事業概要	【令和2年度養成計画】 ・救急救命士：1人 ・気管挿管認定救命士：1人 ・病院研修：23人（対象者：運用救急救命士） 【救急救命士認定・運用状況】	○委託料 460千円 ・救急救命士病院研修委託料 ○負担金 2,306千円 ・救急救命士養成負担金 2,006千円 ・気管挿管実習負担金 300千円														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>有資格者数</th> <th colspan="2">(うち運用数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29人</td> <td colspan="2">(21人)</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与</td> <td>29人</td> <td>(21人)</td> </tr> <tr> <td>処置拡大</td> <td>25人</td> <td>(21人)</td> </tr> <tr> <td>気管挿管</td> <td>15人</td> <td>(11人)</td> </tr> </tbody> </table> ※令和2年1月末現在 ○旅費 585千円 ・救急救命士養成派遣に伴う旅費（京都市消防学校）	有資格者数	(うち運用数)		29人	(21人)		薬剤投与	29人	(21人)	処置拡大	25人	(21人)	気管挿管	15人	(11人)
有資格者数	(うち運用数)															
29人	(21人)															
薬剤投与	29人	(21人)														
処置拡大	25人	(21人)														
気管挿管	15人	(11人)														

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	3,228千円		3,499千円		△ 271千円		3,817千円		課	総務課
	目	01 常備消防費										
	事	03 消防訓練・研修業務										
	細事	02 消防学校等研修派遣業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							3,228				
目的・趣旨	複雑多様化・高度化する消防業務に対応するため、より専門的な講習会、研修等に参加し、最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図る。 また、消防活動上必要な各種資格を取得し、能力の向上に努める。		主な財源									
事業概要	○旅費 1,714千円 ・消防大学校、京都府立消防学校専科等研修、研究会等 1,531千円 ・各種資格取得、講習会 183千円 ○委託料 42千円 ・バス運転委託料 ○使用料 121千円 ・有料道路通行料 109千円 ・駐車場使用料 12千円		○負担金、補助金 1,351千円 ・消防大学校専科等研修、各種講習会等参加負担金 1,271千円 消防大学校研修派遣（救助科・幹部科） 2人 府立消防学校初任教育派遣 1人 府立消防学校各種専科（救急・救助等）教育派遣 9人 予防技術検定受験料 2人 潜水士受験料 1人 玉掛け、小型移動式クレーン資格取得 2人 無線従事者養成 1人 潜水業務管理研修派遣 1人 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能 1人 ・大型自動車免許取得補助金 80千円									

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考H30決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	6,076千円	4,399千円	1,677千円	5,018千円	課	総務課
	目	01 常備消防費						
	事	04 予防・警防等業務						
	細事	01 予防・警防等業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実					815	5,261	
目的・趣旨	<p>各種事業所への立ち入り検査、防火管理指導を積極的に行うとともに、防火チラシ・ポスターの作成配布、防火講習会などの火災予防啓発に取り組む。</p> <p>また、複雑多様化する各種災害における迅速かつ的確で安全な消防活動を支えるため、資機材及び装備の充実を図る。</p>		主な財源	<p>手数料 消防手数料 659</p> <p>諸収入 防火管理者資格取得講習料 156</p>				
事業概要	<p>○予防関係経費 749千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火ポスター記念品代等 9千円 防火管理者講習会テキスト代、広報頒布材購入費 343千円 火災予防運動チラシ（年2回）、防火ポスター印刷費 246千円 通信運搬費 63千円 原材料費（火災予防工作物等） 88千円 		<p>○警防関係経費 5,327千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾電池、ドローンバッテリー、備蓄食料費等 535千円 消防機械器具、水難救助備品等修繕料 977千円 高圧ガス容器検査、消防ポンプ点検手数料等 783千円 船舶検査手数料 17千円 銃刀類所持許可申請手数料 11千円 ヘリポート草刈委託料 39千円 訓練用車両借上料 30千円 消火、救助活動関係備品等購入費 2,935千円 （消防用ホース、空気ボンベ、水難救助潜水用具） 					

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	7,093千円		6,222千円		871千円		6,279千円		課	総務課
	目	01 常備消防費										
	事	05 救急業務										
	細事	01 救急活動業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実										7,093	
目的・趣旨	救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。また、救命指示センターの医師との連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に努める。		主な財源									
事業概要	令和元年救急出動件数 2,455件 (前年比：△112件、4.4%減) 平成30年救急出動件数 2,567件 (前年比：±0件、前年同数) 平成29年救急出動件数 2,567件 (前年比：48件、1.9%増)				○委託料 2,770千円 ・救命指示センター委託料 1,469千円 ・高度救急医療資機材点検委託料 1,301千円 ○使用料 10千円 ・有料道路通行料 ○負担金 711千円 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円 ・救急安心センター事業負担金 591千円							
	○救急管外搬送費 136千円											
	○需用費 3,094千円											
	・救急活動消耗品費 2,700千円											
	・救急活動備品修繕料等 341千円											
	・医薬材料費 53千円											
	○役務費 372千円											
	・救急毛布刈-ニツク [®] 代、医療関係廃棄物処理手数料等 265千円											
	・救急救命士賠償・消防業務賠償責任保険 107千円											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	25,866千円		59,414千円		△ 33,548千円		26,418千円			
	目	01 常備消防費										
	事	06 通信指令業務										
	細事	01 通信指令業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実					19	25,847					
目的・趣旨	365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等の緊急要請を受け付ける通信指令システムを有効かつ的確に運用できるよう維持管理を行い、各種災害時に対応する。		主な財源	諸収入 西山中継局電源設備利用負担金 19								
事業概要	○報償費 44千円 ・音声吹込謝金 ○需用費 1,151千円 ・指令書出力プリンタートナー等消耗品費 612千円 ・光熱水費（消防救急無線丹後地域公民館基地局） 96千円 ・無線機用バッテリー、航空用灯火等 443千円 ○役務費 8,325千円 ・NTT回線使用料等 8,314千円 ・機器設置手数料（航空用灯火） 11千円 ○委託料 16,102千円 ・自家用電気工作物保安管理委託料等 201千円 ・聴覚障害者用緊急WEB通報システム運用委託料 660千円 ・通信指令施設等保守管理委託料 14,683千円 ・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 558千円				○使用料 7千円 ・電波利用料 ○負担金 237千円 ・消防救急デジタル無線基地局電気料金負担金 182千円 ・緊急通報多言語対応システム負担金 55千円							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	19,835千円		19,564千円		271千円		27,634千円			
	目	01 常備消防費										
	事	07 庁舎等維持管理事業										
	細事	01 庁舎等維持管理事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実					295	19,540					
目的・趣旨	災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等維持管理を行う。		主な財源	使用料	公有財産使用料							295
事業概要	消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所） 消防車両 20台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令・広報車5台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台、軽トラック1台）			○車両関係経費 8,989千円 ・燃料費（ガソリン、軽油等） 4,592千円 ・車検整備、修繕料 3,200千円 ・自動車登録手数料等 260千円 ・自動車損害保険料、自動車任意保険料等 418千円 ・自動車重量税 519千円								
	○消防庁舎関係経費 10,846千円 ・庁舎管理消耗品費（清掃用品、蛍光管等） 400千円 ・燃料費（灯油、LPガス等） 1,664千円 ・光熱水費（上下水道料金、電気料金等） 7,271千円 ・修繕料（空調機器、高圧受電設備等） 640千円 ・ごみ持込処理手数料 36千円 ・廃油処理手数料等（非常用発電機 6台） 309千円 ・委託料（空調設備、自家用電気工作物等） 361千円 ・清掃用具借上料 165千円											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考H30決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	39,896千円	39,920千円	△ 24千円	38,731千円	課	総務課
	目	02 非常備消防費						
	事	01 団員報酬・公務災害補償費等						
	細事	01 団員報酬	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							39,896

目的・趣旨	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。	主な財源
-------	-------------------------	------

事業概要	○消防団員報酬（実団員数 1,661人 R2.4.1見込み）	39,896千円																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>階級</th> <th>年額</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団長</td> <td>189千円</td> <td>1人</td> <td>189千円</td> </tr> <tr> <td>副団長</td> <td>123千円</td> <td>3人</td> <td>369千円</td> </tr> <tr> <td>方面隊長</td> <td>123千円</td> <td>6人</td> <td>738千円</td> </tr> <tr> <td>副方面隊長</td> <td>96千円</td> <td>6人</td> <td>576千円</td> </tr> <tr> <td>分団長</td> <td>96千円</td> <td>25人</td> <td>2,400千円</td> </tr> <tr> <td>副分団長</td> <td>57千円</td> <td>25人</td> <td>1,425千円</td> </tr> <tr> <td>指導員</td> <td>57千円</td> <td>25人</td> <td>1,425千円</td> </tr> <tr> <td>部長</td> <td>43千円</td> <td>69人</td> <td>2,967千円</td> </tr> <tr> <td>班長</td> <td>33千円</td> <td>148人</td> <td>4,884千円</td> </tr> <tr> <td>団員</td> <td>19千円</td> <td>1,297人</td> <td>24,643千円</td> </tr> <tr> <td>支援団員</td> <td>5千円</td> <td>56人</td> <td>280千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,661人</td> <td>39,896千円</td> </tr> </tbody> </table>		階級	年額	人員	金額	団長	189千円	1人	189千円	副団長	123千円	3人	369千円	方面隊長	123千円	6人	738千円	副方面隊長	96千円	6人	576千円	分団長	96千円	25人	2,400千円	副分団長	57千円	25人	1,425千円	指導員	57千円	25人	1,425千円	部長	43千円	69人	2,967千円	班長	33千円	148人	4,884千円	団員	19千円	1,297人	24,643千円	支援団員	5千円	56人	280千円	合計		1,661人
階級	年額	人員	金額																																																		
団長	189千円	1人	189千円																																																		
副団長	123千円	3人	369千円																																																		
方面隊長	123千円	6人	738千円																																																		
副方面隊長	96千円	6人	576千円																																																		
分団長	96千円	25人	2,400千円																																																		
副分団長	57千円	25人	1,425千円																																																		
指導員	57千円	25人	1,425千円																																																		
部長	43千円	69人	2,967千円																																																		
班長	33千円	148人	4,884千円																																																		
団員	19千円	1,297人	24,643千円																																																		
支援団員	5千円	56人	280千円																																																		
合計		1,661人	39,896千円																																																		

※条例定数 1,730人

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考H30決算額	部	消防本部																
	項	01 消防費	3,835千円	3,835千円	0千円	3,912千円	課	総務課																
	目	02 非常備消防費																						
	事	01 団員報酬・公務災害補償費等																						
	細事	02 公務災害補償費等	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実					300	3,535																	
目的・趣旨	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員等に対し、公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火訓練における防火防災訓練災害補償等制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。	主な財源	諸収入	消防団員公務災害補償金	300																			
事業概要	<p>○公務災害補償費 300千円 消防団員や地域住民が活動中に負傷した場合、京丹後市消防団員等公務災害補償条例に基づき、治療費等を支給する。</p> <p>○消防団員等公務災害補償等共済掛金 3,480千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が公務上と認められた場合に補償を行うための掛金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>1人当たり掛金</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団員</td> <td>1,730人</td> <td>1,900円</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>55,054人</td> <td>3.5円</td> <td>193千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>3,480千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 団員人数：令和元年10月1日現在の条例定数、人口：H27国勢調査人口</p> <p>○防火防災訓練災害補償等共済掛金 55千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対して、補償を行うための掛金</p>								区分	人数	1人当たり掛金	金額	団員	1,730人	1,900円	3,287千円	市民	55,054人	3.5円	193千円	合計			3,480千円
区分	人数	1人当たり掛金	金額																					
団員	1,730人	1,900円	3,287千円																					
市民	55,054人	3.5円	193千円																					
合計			3,480千円																					

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	33,216千円		33,216千円		0千円		85,561千円		課	総務課
	目	02 非常備消防費										
	事	02 団員退職報償金										
	細事	01 団員退職報償金	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							33,216				
目的・趣旨	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。		主な財源									
事業概要	○消防団員退職報償金掛金 条例定数 1,730人 × 19,200円 (令和元年10月1日現在)		33,216千円									

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	106,618千円		120,863千円		△ 14,245千円		124,332千円			課
	目	02 非常備消防費										
	事	03 消防団活動運営事業										
	細事	01 消防団活動運営事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		300									106,318
目的・趣旨	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。	主な財源	国補	消防団設備整備費補助金								300
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団運営活動費（実団員数1,661人 R2.4.1見込み） 本部、分団、部、指導員、ラッパ隊、女性団員、支援団員、車両・ポンプ管理 ○操法大会訓練謝金ほか（府大会出場分団等） ○団員出動警戒手当、訓練手当 出動・警戒手当1,600円/回、訓練手当1,500円/回 ○消防学校入校、京都府消防操法大会等参加経費 ○出初式開催経費（定例団員表彰・感謝状、会場借上等） ○任命辞令交付式開催経費 ○活動服、編上靴、水利標示板等消耗品 ○消防自動車管理経費 86台（修繕料、燃料費、保険料等） ○印刷製本費（火の用心ステッカー等） ○消防車庫、防火水槽等管理経費（光熱水費、借地料等） ○消防ポンプ点検手数料 	<ul style="list-style-type: none"> 53,939千円 510千円 22,004千円 2,282千円 2,181千円 375千円 1,643千円 16,831千円 79千円 2,709千円 423千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防用ホース購入 ○多機能型消防車両AED更新（3台） ○京都府消防協会京丹後市支部負担金 ○その他経費（ホース・消火栓器具・消火器等処分費） 	<ul style="list-style-type: none"> 2,457千円 900千円 255千円 30千円 								

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	19,476千円		17,534千円		1,942千円		17,528千円		課	総務課
	目	02 非常備消防費										
	事	04 消防設備維持管理事業										
	細事	01 消防設備維持管理事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							19,476				

目的・趣旨	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて水道事業会計へ繰り出すもの。	主な財源
-------	---------------------------------------------	------

事業概要	○水道事業会計繰出金 3,246基×6,000円/基 19,476千円													
	<p>【消火栓設置数】</p> <table border="1"> <tr><td>峰山町</td><td>458基</td></tr> <tr><td>大宮町</td><td>499基</td></tr> <tr><td>網野町</td><td>606基</td></tr> <tr><td>丹後町</td><td>379基</td></tr> <tr><td>弥栄町</td><td>353基</td></tr> <tr><td>久美浜町</td><td>951基</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,246基</td></tr> </table>	峰山町	458基	大宮町	499基	網野町	606基	丹後町	379基	弥栄町	353基	久美浜町	951基	合計
峰山町	458基													
大宮町	499基													
網野町	606基													
丹後町	379基													
弥栄町	353基													
久美浜町	951基													
合計	3,246基													

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	35,119千円		25,566千円		9,553千円		43,187千円		課	総務課
	目	03 消防施設費										
	事	01 常備消防施設等整備事業										
	細事	01 常備消防施設等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実	13,159		21,800			160					
目的・趣旨	災害発生時に迅速かつ的確に対応するため、老朽化した高規格救急自動車（緊急消防援助隊登録車両）の計画的な更新整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。		主な財源	国補	消防防災施設整備費補助金	13,159						
				市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）	21,800						
事業概要	○高規格救急自動車及び高度救命処置用資器材の更新整備		35,119千円									
	配備先：網野分署 ※車両購入から11年経過											
	・役務費（自賠責保険、自動車任意保険料等）	86千円										
	・備品購入費（車両及び資器材）	35,000千円										
・公課費（自動車重量税）	33千円											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考H30決算額		部	消防本部		
	項	01 消防費	37,127千円		25,246千円	11,881千円	42,532千円		課	総務課		
	目	03 消防施設費										
	事	02 非常備消防施設等整備事業										
	細事	01 消防車両等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実	210	5,500	31,200			217					
目的・趣旨	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。		主な財源	国補	消防団設備整備費補助金	210	府補	地域防災力総合支援事業補助金	5,500	市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）	31,200
事業概要	○備品購入費 ・多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台 12,000千円 峰山第3分団第2部 ※車両購入後23年経過 ・多機能型消防ポンプ自動車 1台 25,000千円 網野第3分団第1部 ※車両購入後23年経過 ○役務費（自賠責保険、自動車任意保険料等） 75千円 ○公課費（自動車重量税） 52千円											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	25,092千円		1,542千円		23,550千円		17,745千円		課	総務課
	目	03 消防施設費										
	事	02 非常備消防施設等整備事業										
	細事	02 消防車庫等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			23,700			1,392					
目的・趣旨	消防団組織見直し等に伴い、消防団車両を格納する消防車庫を新たに整備するもの。		主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債） 23,700								
事業概要	○北大路消防車庫 23,650千円 整備場所：網野町網野地内（網野第2分団第1部（北大路）） 構造・面積：鉄骨造平屋建・約41㎡ ・役務費（設計審査手数料、水道工事検査手数料等） 123千円 ・委託料（工事監理委託料） 980千円 ・工事請負費 22,500千円 ・負担金（水道加入分担金） 47千円				○河辺消防車庫 1,442千円 整備場所：河辺区民センター敷地内（大宮第4分団第2部（河辺）） 構造・面積：鉄骨造平屋建・約41㎡ ・役務費（建築確認申請手数料） 42千円 ・委託料（工事設計委託料） 1,400千円							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	10,860千円		11,722千円		△ 862千円		13,444千円		課	総務課
	目	03 消防施設費										
	事	04 消火栓整備事業										
	細事	01 消火栓設置事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			10,500			360					
目的・趣旨	火災発生時に最も身近で有効な消火栓の設置を進めるため、緊急度及び地域の実情を考慮し整備する。	主な財源	市債	消防防災施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）							10,500	
事業概要	○消火栓修繕料 緊急対応する必要がある簡易な修繕に対応	300千円										
	○消火栓工事（16基）	10,560千円										
	老朽化に伴う更新	地上式 2基										
		地下式 1基										
	水道工事に伴う更新	地下式 11基										
	下水道工事に伴う更新	地下式 1基										
	撤去	地上式 1基										

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考H30決算額		部	消防本部																
	項	01 消防費	3,000千円		3,000千円		0千円		2,959千円		課	総務課																
	目	03 消防施設費																										
	事	04 消火栓整備事業																										
	細事	02 消火栓ボックス等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																				
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							3,000																				
目的・趣旨	消火栓の新設、更新及び地区要望等に基づき、老朽化した消火栓ボックス（格納庫）や消火栓備品を更新する。		主な財源																									
事業概要	○消火栓ボックス等備品		3,000千円																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>63台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>63台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>221本</td> </tr> <tr> <td>管そう（ストレートノズル）</td> <td>35本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地上式用）</td> <td>15本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>15本</td> </tr> <tr> <td>スタンドパイプ（地下式用）</td> <td>21本</td> </tr> </tbody> </table>		品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	63台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	63台	消火栓用ホース	221本	管そう（ストレートノズル）	35本	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	15本	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	15本	スタンドパイプ（地下式用）	21本										
品名	数量																											
屋外型ホース格納箱（スチール製）	63台																											
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	63台																											
消火栓用ホース	221本																											
管そう（ストレートノズル）	35本																											
消火栓開閉ハンドル（地上式用）	15本																											
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	15本																											
スタンドパイプ（地下式用）	21本																											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考H30決算額	部	消防本部						
	項	01 消防費						1,908千円	13,532千円	△ 11,624千円	2,889千円	課	総務課	
	目	03 消防施設費	01 消防施設一般経費	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金						その他	一般財源
	事	50 消防施設一般経費												
	細事	01 消防施設一般経費												
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実													
目的・趣旨	消防活動を円滑に行うため、消防資機材、車庫及び消防水利等の維持管理を行う。		主な財源											
事業概要	○消防資機材の整備及び消防施設の維持補修経費		1,908千円											
	・小西川可動堰電気代		63千円											
	・消防車庫、防火水槽等修繕等		1,009千円											
	・デジタル簡易無線局電波利用料		167千円											
	・消防車庫下水道接続工事（峰山第1分団第1部）		509千円											
	・下水道加入分担金		160千円											